

## 功労者表彰式開催 (2021年度授賞)

2022年6月30日にJAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(新宿)にて、「2022年度第1回加盟団体代表委員総会」を2020年2月以来となる久々の対面形式による開催を致しました。全国から多くの代表委員の皆様にご出席いただきましたが、JVA 功労者表彰式につきましては、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、誠に残念ながら全体での開催を見送ることとし、各推薦加盟団体にて表彰伝達を頂きました。

授賞者皆様の長年のバレーボール界におけるご活躍に感謝申し上げますとともに、その素晴らしいご功績をここにお知らせいたします。

### 【表彰授賞者一覧】(以下敬称略)

表彰名	授賞者名	推薦団体
功労者Ⅰ	木下 昭雄	大阪府バレーボール協会
	田中 清	日本ソフトバレーボール連盟
	原 卓弘	全国高体連バレーボール専門部
功労者Ⅱ	千田 清憲	宮城県バレーボール協会
	若井 健一	群馬県バレーボール協会
	図師 透	(公財)東京都バレーボール協会
	山田 泰男	山梨県バレーボール協会
	勘村 紀美枝	(一社)石川県バレーボール協会
	土屋 信二	(一社)静岡県バレーボール協会
	小島 徳文	岐阜県バレーボール協会
	山本 安雄	和歌山県バレーボール協会
	上野 富治	
	井寄 貴夫	京都府バレーボール協会
	小野 善晴	(一財)兵庫県バレーボール協会
	三木 敏之	徳島県バレーボール協会
坂井 充	佐賀県バレーボール協会	

## ■表彰授賞者のお写真

推薦加盟団体の皆様のご協力のもと、授賞者様のお写真提出をいただきましたので別紙の通り、掲載いたします。

## 【表彰授賞者のご紹介】

### 功労者Ⅰ表彰

○木下昭雄(きのしたあきお) 大阪府バレーボール協会

【授賞理由】

37年の長きにわたり、国内競技委員会委員や副委員長として活躍されました。その間、数々の競技会運営に携わり、JVAと競技会開催地との連絡調整や大会を通してバレーボール普及に努められました。

一方、大阪高体連バレーボール専門部の役員として高校生の指導を通してバレーボールの普及にも努められ、専門委員長を務める傍ら、全国高体連バレーボール競技委員会の委員として、全国大会の運営に関わりました。また、地元大阪府バレーボール協会では競技委員長、副理事長を務められ、各種全国大会の運営や国際大会の運営にも尽力され、その業績は多大であります。

○田中清(たなかきよし) 日本ソフトバレーボール連盟

【授賞理由】

田中氏は、日本ソフトバレーボール連盟設立時の1990年から2021年3月までの31年間、理事として連盟内の各専門委員会の組織化を図り、各部署の連携により連盟の継続的な発展に寄与されました。

また、16年間の副理事長就任期間において、歴代の理事長を補佐し、専門委員会を柔軟に変革させ、組織体としての活力を見出しました。特に、指導普及委員長を兼ねていた時期は、活動の活性化とともに、ソフトバレーボールの振興・普及に寄与されました。

○原卓弘(はらたかひろ) 全国高体連バレーボール専門部

【授賞理由】

全国高体連バレーボール専門部の強化指導普及委員として、優秀かつ素質のある全国の高校生バレープレーヤーを発掘し、育成・強化に取り組みられました。全国高体連バレーボール専門部の副部長・部長としては、全国大会(春高バレー、インターハイ等)の大会責任者として開催から運営に至るまで献身的に取り組み、バレーボールの普及発展と世界で活躍するジュニア選手の発掘強化事業にも尽力されました。また、JVAの理事としても、特にジュニア育成に関わる強化事業に注力され、東京オリンピックの成功はもとより、バレーボール界全体の発展に大きく寄与されました。

### 功労者Ⅱ表彰

○千田清憲(ちだきよのり) 宮城県バレーボール協会

【授賞理由】

宮城県バレーボール協会の主要役員(常任理事・副会長)として長年尽力されました。併せて、県協会加盟団体である「古川市バレーボール協会」の理事・副会長・会長として協会の運営、登録チーム及び選手への指導、協会発展に尽力され、他の加盟協会の模範となつて、宮城県協会の普及・発展に大きく貢献されました。また、各種バレーボール大会やワールドカップ、世界選手権などの国際大会の運営においても主要役員として尽力するなど、長年宮城県のバレーボール界を献身的に支えてこられました。

### ○若井健一(わかいけんいち) 群馬県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

1970(昭和 50)年代から行政経験を活かし事務局長として群馬県協会の運営に尽力するとともに、A 級審判員としても活躍されました。また、数多くの全国大会や関東大会、県大会、日本リーグ(現 V リーグ)の開催に際し、緻密な計画により各種大会を成功に導きました。現在も理事としてバレーボールの普及・発展に努められております。

### ○図師透(ずしとおる) (公財)東京都バレーボール協会

#### 【授賞理由】

図師氏は 1971 年から 30 年間に亘り、東京高体連男子部委員として選手の指導、組織の運営等に尽力されてきました。その間に A 級審判員の資格を取得し、インターハイを始めとした数多くの全国大会の決勝審判員を務められました。審判員の引退後は高体連競技委員長として春の高校バレーや JVA 競技委員会委員として活躍されました。2005 年からは高体連男子部部長を務められ、トップとして組織の発展を牽引されました。2006 年から 2 年間は東京都バレーボール協会の副会長として就任し、再び 2018 年から現在に至るまで副会長として(公財)東京都バレーボール協会の運営の一翼を担っております。2019 年には旭日小章を叙勲され、教育者・バレーボール指導者としても卓越されております。

### ○山田泰男(やまだやすお) 山梨県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

山田氏は県内高校教員として採用されて以降、高校女子バレーボールの指導に傾注され、競技力の向上を図るとともに、山梨県高体連バレーボール専門部では専門委員長及び専門部長として、高校生の指導をはじめ、指導者の育成に熱心に当たりました。また、長年に亘り、山梨県バレーボール協会の主要役員を歴任され、そして昨年までの 6 年間に会長として山梨県内のバレーボールの競技人口の拡大や若年層の競技人口の減少対策を始めとする指導普及など全般を統括するとともに、小学生から社会人、ママさんカテゴリーを問わず選手の育成に尽力されました。各種事業や V リーグや関東大会開催においても、組織力を活かした運営に積極的に携わり協会の普及・発展に多大なる貢献をされました。現在も名誉会長として引き続き、協会発展に寄与されております。

### ○勸村紀美枝(かんむらきみえ) (一社)石川県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

石川県バレーボール協会の理事を 15 年間、常任理事を 10 年間就任され、2011 年度からは県内初の女性副理事長の要職を歴任され、長年に亘り組織の充実や発展に献身的に寄与されました。特に第 11 回(2011 年度)、第 15 回(2015 年度)の日本スポーツマスターズ大会では女子を中心に競技力の向上、指導普及、競技役員育成にご尽力され、大会を大成功に導きました。そして、全国大会等を積極的に誘致し、数々の大会を成功に収められました。協会の発展や組織の拡充に多大なる功績を残され、組織の改革や後進の役員育成に尽力されました。

### ○土屋信二(つちやしんじ) (一社)静岡県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

2003 年開催の静岡国体に向け、強化担当として副理事長に就任されました。2007 年からは理事長に就任され、数多くの国際大会を開催するなど、JVA との信頼関係を深めると同時にバレーボールの普及・発展に努めた功績は多大であります。2013 年からは筆頭副会長として会長を補佐するとともに法人化検討委員会をまとめ、一般社団法人静岡県バレーボール協会への移行に寄与されました。2017 年から会長として、2011 年からの 6 年間は、東海バレーボール連盟の理事長との兼任により東海ブロックの協会運営向上に加えて静岡県全体の競技力向上に尽力されました。

## ○小島徳文(こじまのりふみ) 岐阜県バレーボール協会

### 【授賞理由】

1992 年より岐阜県実業団連盟並びに岐阜県協会の事務局員(理事)になられて以降、長年協会の運営に携わり、事務局長時代は、加盟登録料の値上げなど、財務の立て直しを實踐されました。岐阜県内で開催される国内・国際大会においては、主要役員として大会の盛会に多大なる貢献をされております。特に 2012 年に開催されました「第 67 回国民体育大会ぎふ清流国体・第 12 回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会」では、全体統括副委員長として尽力されました。理事長就任後も大会運営をはじめ、創立 70 周年記念式典の開催等に尽力され、協会役員構成の確立に向け、副会長や副理事長の担当制を用いるなど、組織の充実を図るためにリーダーシップを発揮されています。

## ○山本安雄(やまもとやすお) 和歌山県バレーボール協会

### 【授賞理由】

一貫して和歌山県小学生バレーボール連盟の組織強化に取り組むとともに、小学生チームの指導と選手の育成に尽力されてきました。また、日本小学生バレーボール連盟では、倫理委員長として、体罰・暴力の根絶に取り組む活動に注力されるとともに、和歌山県バレーボール協会の副理事長として、各大会、各行事では先頭に立ち、指導されてきました。

## ○上野富治(うえのとみはる) 和歌山県バレーボール協会

### 【授賞理由】

和歌山県バレーボール協会の主要役員として、協会発展のために尽力され、2015 年の紀の国わかやま国体に向けて、成年男女チームの選手育成に大きく貢献されました。2003 年の日本スポーツマスターズ大会を始め、日米対抗や各種全国大会・Vリーグの開催誘致活動を行い、運営の主要役員として活躍するなど、和歌山県バレーボール界の普及・発展に尽力されました。和歌山県バレーボール協会の理事、副理事長、理事長として長年務められ、この間、組織の活性化と財政基盤の強化に努めるなど、和歌山県協会の普及発展に寄与されるとともに、国体強化チームの育成など、県内バレーボールの競技力向上に尽力されました。

## ○井寄貴夫(いざきたかお) 京都府バレーボール協会

### 【授賞理由】

長年に亘り、京都府バレーボール協会の主要役員を歴任され、組織の運営・発展に深く寄与されました。京都府協会内におけるコンプライアンスやガバナンスの遵守・徹底に早い段階から取り組み、尽力されました。また、2011 年度からは競技副委員長、2017 年度からは競技委員長として、各種の国際大会や全国大会、Vリーグ京都大会の運営に携わり、多くの大会の成功に深く関与されました。京都府ビーチバレーボール連盟においてもその指導力を遺憾なく発揮され、組織の活性化を進めるとともに、京都府下におけるビーチバレーボール競技の普及・発展および強化にも尽力されました。2017 年度より近畿バレーボール連盟理事およびビーチバレーボール連盟副理事長に就任されております。

## ○小野善晴(おのよしはる) (一財)兵庫県バレーボール協会

### 【授賞理由】

神戸市立赤塚山高校在勤中にはバレーボール部を兵庫県内のトップチームに育てられ、全国高校総体(1977、1979 年)、全国高校選手権大会(1978・1979 年)に出場するなど、県内のチームを牽引され、レベルアップを図られました。1985 年に兵庫県バレーボール協会の役員に就任されてからは、県内男子大会、2005 年のワールドグランプリ女子大会、2008 年世界選手権大会、2017 年世界クラブ選手権大会、2018 年世界選手権大会などの国際大会など多くの大会実行委員として企画・運営に当たられ、その成功に大いに貢献されました。現在は会長として活躍され、多くの協会役員から信頼を寄せられています。

### ○三木敏之(みきとしゆき) 徳島県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

徳島県高体連において、長年に亘り、大きく貢献されてきました。徳島県バレーボール協会においても理事、常務理事、参与を務められ、徳島県バレーボール協会及び徳島県スポーツ協会から功労者表彰を授与されております。長年高校バレーボールの指導に携わり、情熱的でわかりやすい指導で多くの選手に慕われてきました。また、国体においてもスタッフとして徳島県チームを支えてこられ、その長きに亘る功績に対して、多くの協会員が感謝の意を表しております。バレーボールに対する熱意は冷めることなく、現在は参与として、大会運営の手助けをされており、徳島県バレーボールの普及・強化に多大なる力を発揮されています。

### ○坂井充(さかいみつる) 佐賀県バレーボール協会

#### 【授賞理由】

坂井氏は高い見識と優れた手腕により、日本バレーボール協会の科学研究部員、日本代表チームアナリスト、強化本部員等で活躍されました。一方で、大学バレーボール連盟のスタッフとして、大学での指導とともに競技力向上等の任を務められました。通算 40 年間という長い年月で培った幅広い経験から、実績の高い課題解決力でバレーボール界の振興・発展に深く携わり、その功績は多岐にわたり顕著であります。現在も佐賀県協会の副会長として、小学生バレーボール連盟およびソフトバレーボール連盟をまとめ上げる人間性あふれるリーダーです。

以上

発行：公益財団法人日本バレーボール協会

発行人：業務執行理事 事務局長 村上成司

電話：03-5786-2100 FAX:03-5786-2109

E-mail：generalaffairs@jva.or.jp